



## 羽柴千句の原本、八幡の松田家で発見

千曲市八幡の武水別神社の神主を代々勤めている松田家に伝來した古文書の中から、天正6年(1578)の羽柴秀吉による中国地方攻めに際し、その戦勝祈願をした連歌の原本の一部が発見されました。

発見されたのは、「羽柴千句(はしばせんく)」と呼ばれる連歌で、全部で10巻あるうちの第9巻目になります。羽柴千句は、これまで江戸時代の写本は知られていましたが、その原本(作成された当時のもの)が見つかったのは初めてです。

来年は、NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟！」が放送され、主人公豊臣秀長の兄である豊臣秀吉にも注目が集まるものと思われることから、下記の日程で羽柴千句を特別公開します。

1 日 時 令和8年1月23日(金)～令和8年3月1日(日)

2 開館日 金曜日・土曜日・日曜日

3 開館時間 9時～17時(最終入館は16時30分)

4 会 場 武水別神社神官松田邸

5 内 容 新発見の羽柴千句の特別公開

6 観覧料 一般 300円(250円)、高校生 150円(100円)、中学生以下無料  
カッコ内は団体見学料金、団体見学は20名以上

7 その他 学芸員による解説会を実施

1月24日(土)、2月7日(土)、2月21日(土)、2月28日(土)  
13時30分から20分程度

### 本件に関する問い合わせ先

千曲市文化観光スポーツ部 歴史文化財センター

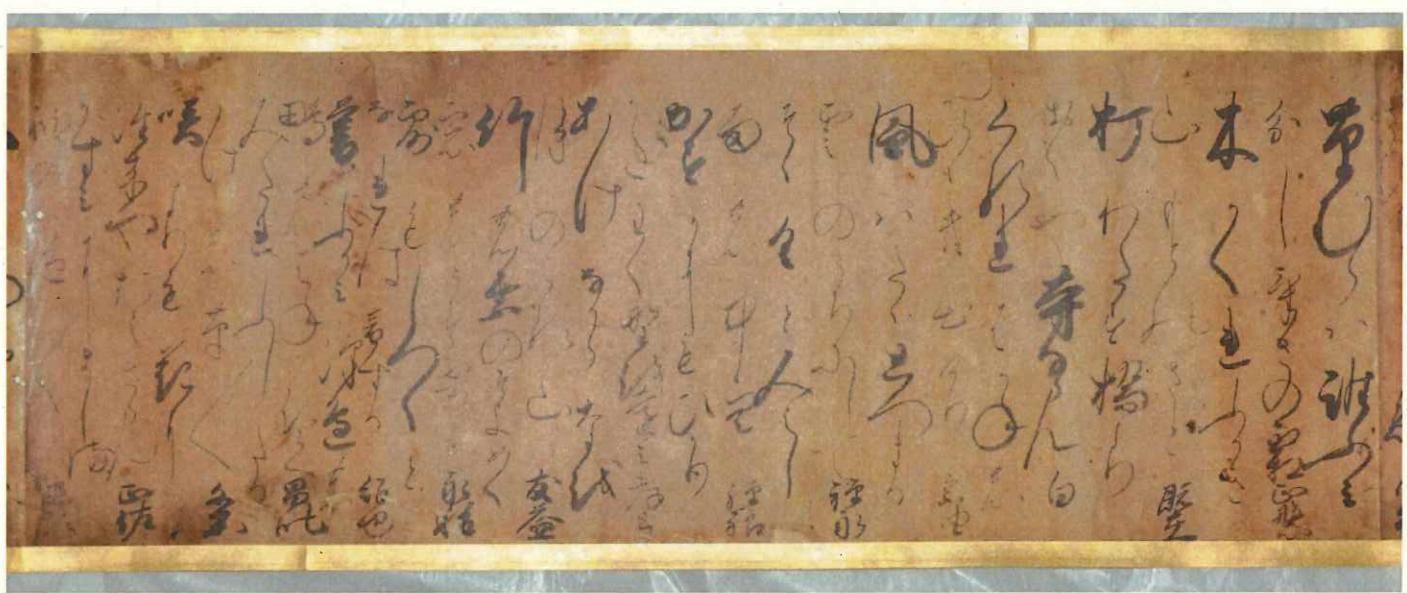
武水別神社神官松田邸学芸係 (所長)臼井 (担当者)中島

電話 026-247-8760 メールアドレス matsudatei@city.chikuma.lg.jp

### 【「羽柴千句」写真】



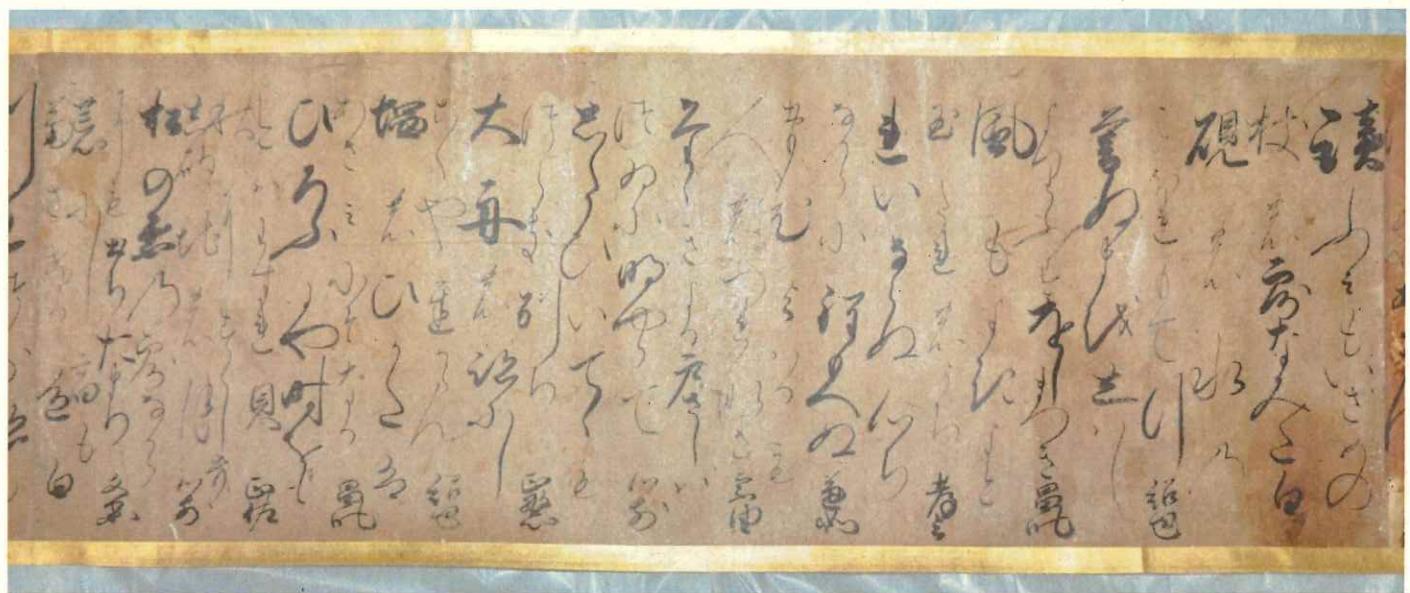
第1紙(初折表)



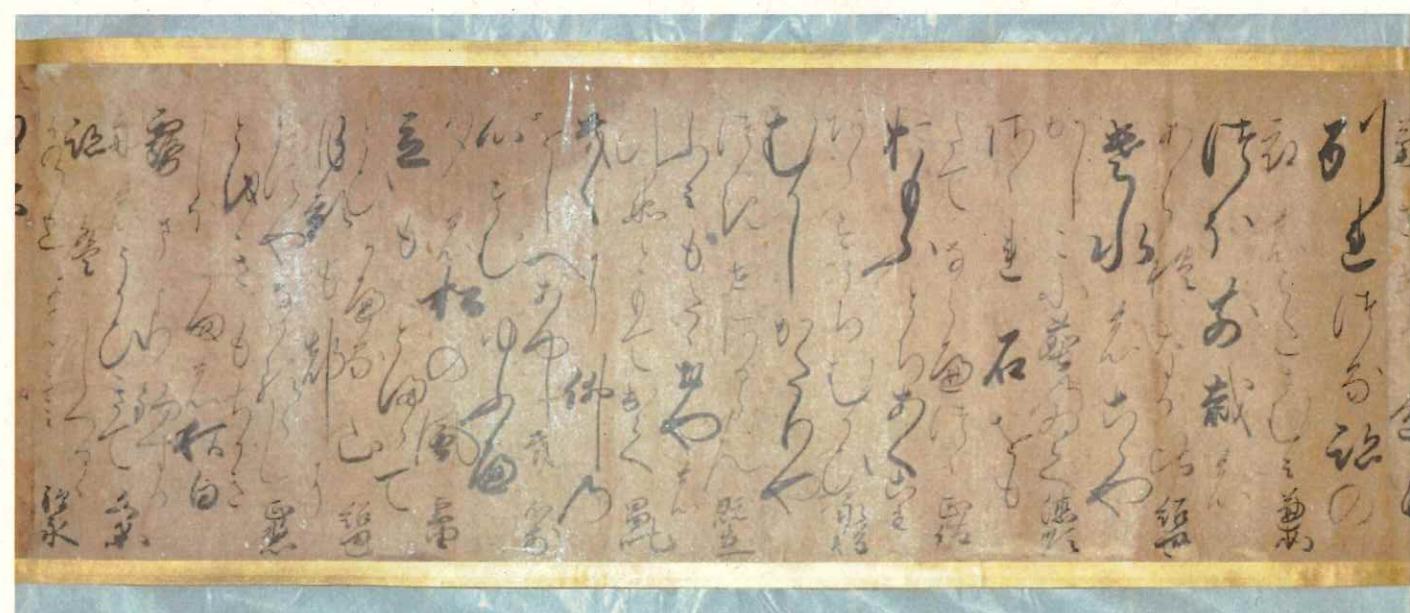
第2紙(初折裏)



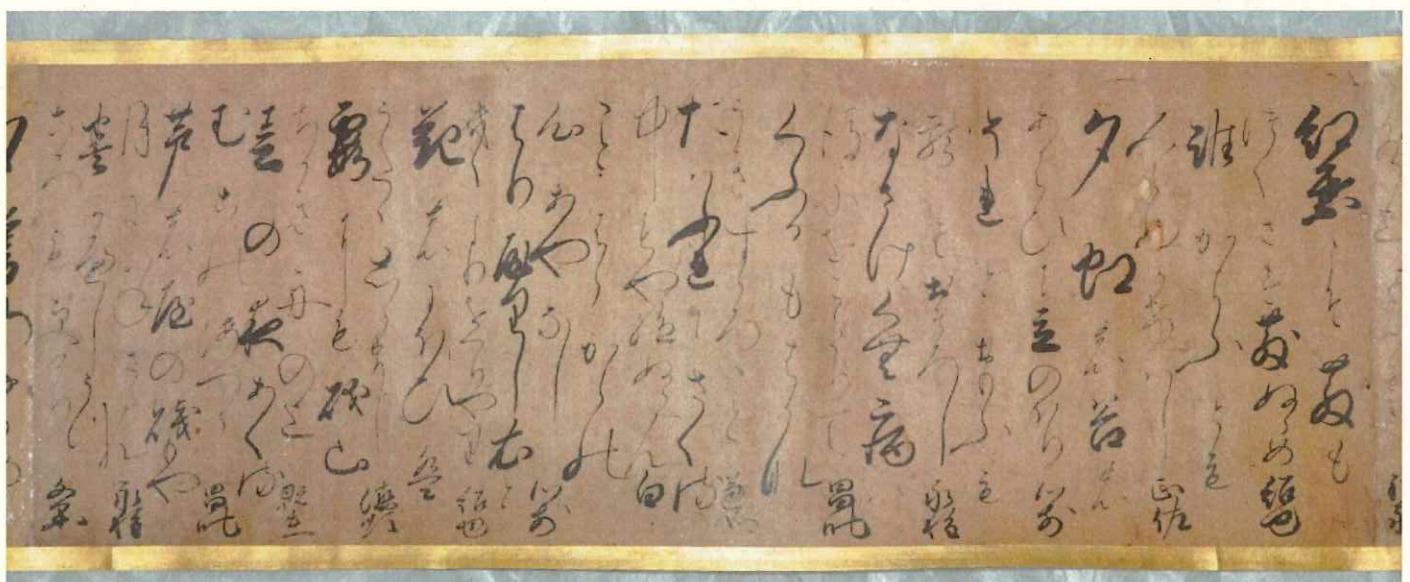
### 第3紙 (二の折表)



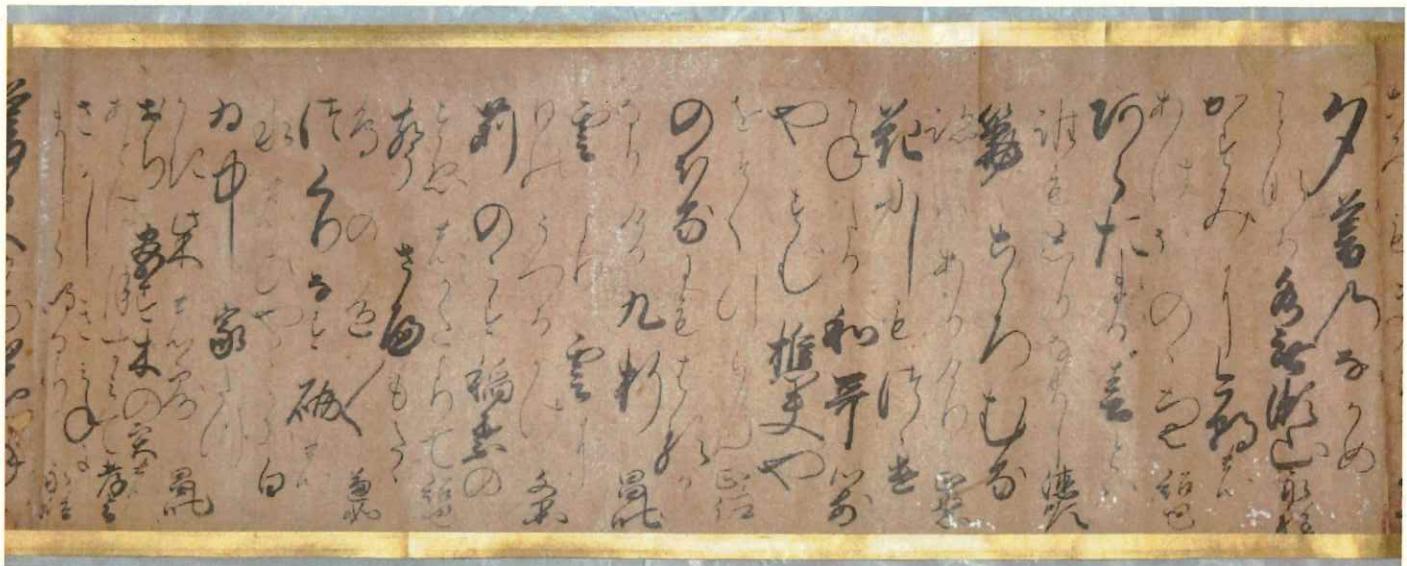
第4紙（二の折裏）※本来は三の折裏



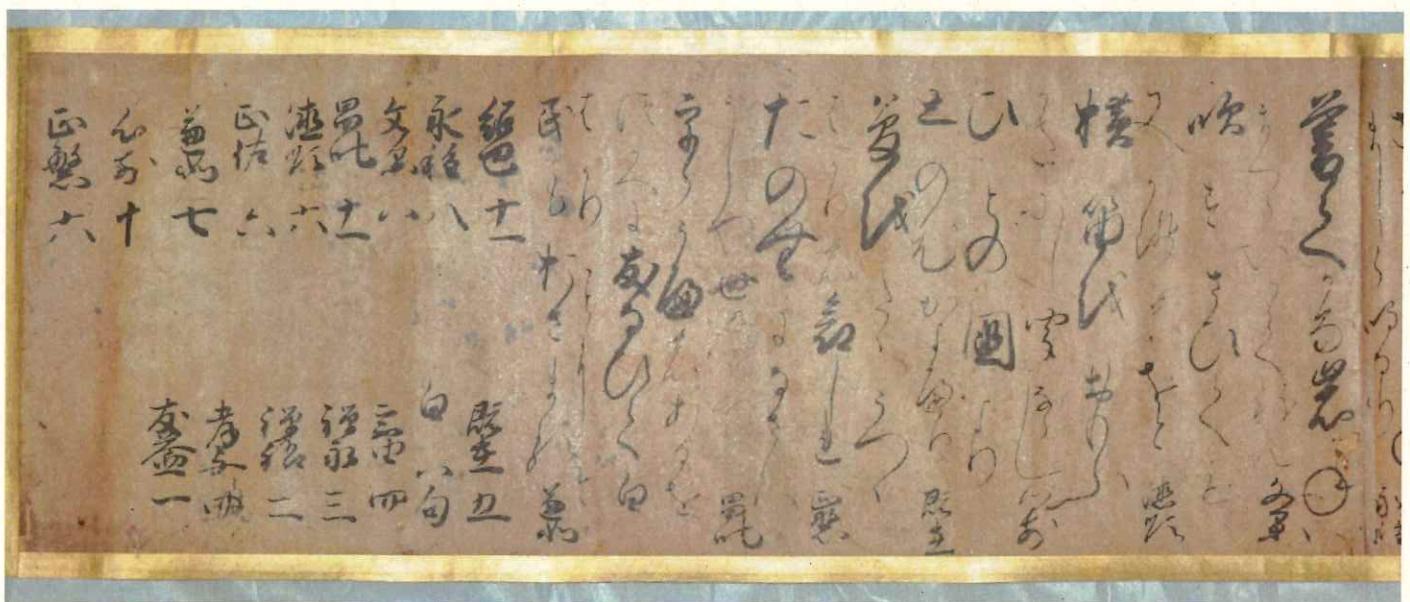
第5紙（三の折表）※本来は二の折裏



第6紙（三の折裏）※本来は三の折表



## 第7紙（名残の折表）



## 第8紙（名残の折裏）

【凡例】

- ・原文の表記は、原則として、漢字は常用漢字を、仮名は通行の字体を用いた。
- ・各連歌冒頭の数字は句Noを示すが、第九百韻のためナンバリングは801からとした。
- ・紙継目は破線で示し、カッコ内に紙数・原形態の折および表裏（オ・ウ）・折ごとの句数を記した。なお、錯簡箇所については、本来の折の名称を紙継目部分の右傍に記した。

天正六年 五月廿日

第九

- 801 賦朝何連歌  
四方にふく風を  
手にとる扇哉  
山／＼こゆる
- 802 夕たちの雲  
永種

- 803 川嶋やとをくも  
波のかゝるらん  
文閑
- 804 なかれに松の  
こすゑかたふく  
昌叱

- 805 出てより夜を待  
月に舟うけて  
徳順

- 806 はれのこりたる  
霧のをちかた  
正佐

- 807 一とおり秋の  
あらしや過ぬらん  
心前

- 808 野辺より野への  
さをしかのこゑ  
兼如

- 809 草むらハ誰ふみ  
分しけさの霜  
正繁

- 810 木かくれふかき  
山もとのさと  
既在

- 811 打わたす橋より  
おくや寺ならん  
白

（ 紙 初折才 八句）

812

宗由

ひゝれ玉なり

宗由

813

禅永

814  
雨の中空

禪祐

815  
かすかにもひかり

104

816  
月のこる山

友益

817

永種

なれば音する

紹巴

81 蓦ふかミ沢辺の  
鳴のはねかきて

四七

かけの草

1

往来やたえさらん

正佐

神の色

三

824 82  
大  
ナ  
ル  
マ  
ツ  
リ  
の  
折  
に  
ふ  
れ  
千  
代  
の  
た  
め  
し  
に

心原

ことふきに酒の  
さかつき取そへて  
かへらんほとを  
きのむ旅人

既在

827

宗廟

(二紙 初折ウ 十四句)

828 みちこそなけれ  
つゝく雪の日

白

829 分くらすかりはの  
野へのへたりて  
こするゑのひまの

禪祐

830 をちこちの山

禪永

831 青葉よりあらへれ  
そむる花の色

紹巴

832 したひもて行  
うくひすのこゑ

孝与

833 きかはやも弥生の

永種

834 すゑの郭公  
春たにさひし

昌叱

835 草の戸の雨

昌叱

836 いつまでか待て  
しもミミむ空の月

文閑

837 人のこゝろの  
つらきあき風

心前

838 読ふミもいさめの  
杖の露なみた

(三紙  
二の折才  
十四句)

839 暮ぬまをしほし  
よりふすをしまつき

昌叱

840 風もよきよと  
硯の水の

白  
紹巴

841 こほれもて行

暮ぬまをしほし  
よりふすをしまつき  
風もよきよと  
玉たれのうち

孝与

842 れいならぬ心ち  
なからに程もへぬ

兼如

843 おもひよへるも  
人のつれなさ

宗由

たゞきよる戸さしハ  
つゐに明やらて

心前

844 したひいてゝも  
つらき別ち

正繁

大舟の跡にし

こくや遅からん

紹巴

塩のひかたは

あさみにそなる

昌叱

ひろふにや時をも

今ハわすれ貝

秋にすゝしき

真砂地の月

心前

847 847

848 848

849 849

松の葉の露ながら

にもおちたまり

850 850

851 851

852 852

853 853

854 854

855 855

856 856

857 857

858 858

859 859

850 850

851 851

852 852

853 853

854 854

855 855

856 856

857 857

858 858

859 859

850 850

851 851

852 852

853 853

854 854

855 855

856 856

857 857

858 858

859 859

850 850

851 851

852 852

853 853

854 854

855 855

856 856

857 857

(錯簡、本来は「三の折ウ」)  
(四紙 二の折ウ 十四句)

文閑

白

兼如

紹巴

徳順

正佐

心前

850 850

851 851

852 852

853 853

854 854

855 855

856 856

857 857

858 858

859 859

心前

宗由

860	立もとまらて とひかへる山	紹巴
861	月影も都に ますやなかるらし	正繁
862	とおきもちかき しほかまの秋	白
863	霧まより釣する 舟のうかひきて	文閑
864	跡はしくるゝ	禪永
865	水上の雲	(錯簡、本来は「二の折ウ」) (五紙 三の折才 十四句)
866	紅葉こそ散も 誰かよふとも	紹巴
867	夕虹の谷の あはひに立のほり	正佐
868	それとおもふも 龍はおそろし	永種
869	なさけくむ病ハ 後にをこたりて	昌叱
870	くふるもはかな うきすゝろこと	心前
871	たハふれにさくる 中もや絶ぬらん	兼如
872	ことはらからぬ 心あやなし	白
873	はりやりし衣と きくよりをくりやり	紹巴
874	花のにほひは うたゝしらまし	徳順
875	霞にも磯山 ちかき舟の上	既在

876 春の夜あくる  
むこの海つら  
昌叱

877 芦の屋の賤もや  
月にいねさんん

永種

878 卷かへしうつ  
ころも更けり

文閑

(錯簡、本来は「三の折」才)  
(六紙 三の折ウ 十四句)

879 夕暮のなかめ  
ことなる水無瀬山

永種

880 かすみに今朝の  
あけほのゝ空

紹巴

881 あらたまる春とハ  
誰もしりなまし

徳順

882 筆こゝろむる  
跡ハありけり

正繁

883 花にしもつゝけ  
かねたる和歌

心前

884 やすむ樵夫や  
をそく行らん

正佐

885 のほるにもはるか  
なりける九折

昌叱

886 雲より雲に  
日のうつるかけ

文閑

887 茄のこす稻葉の  
すゑのかたよりて

紹巴

888 声さへもたゞ  
鳥の色／＼

兼如

889 つくりなす砌の  
水のひやゝかに

白

890 る中家たつ  
かき柴の露

昌叱

891 おち尽す木の実の  
あとは月すみて

孝与

さかしきミねに  
ましら鳴なり

永種

暮てかる岩かね  
まくらいかてねん

（七紙 名残の折才 十四句）

吹すさひても  
又かせのをと

文閑

横笛をおもふ  
かたにし聞ならし

心前

ひとの国より  
しのひかよへり

既在

夢をたゞうつゝ  
はかりの哀しぬれ

正繁

たのむになさは  
うしや世のはて

既在

うらうへのあるを  
つかへに友なひて

昌叱

はかりことにそ  
民もおさまる

兼如

紹巴 十一 既在 五  
永種 八 白 八句  
文閑 八 宗由 四  
昌叱 十一 白 八句  
徳順 六 禅永 三  
正佐 六 禅祐 二  
兼如 七 孝与 一  
心前 六 友益 四  
正繁 六

（八紙 名残の折ウ 八句）

は しば せん く

# 特別公開 羽柴千句

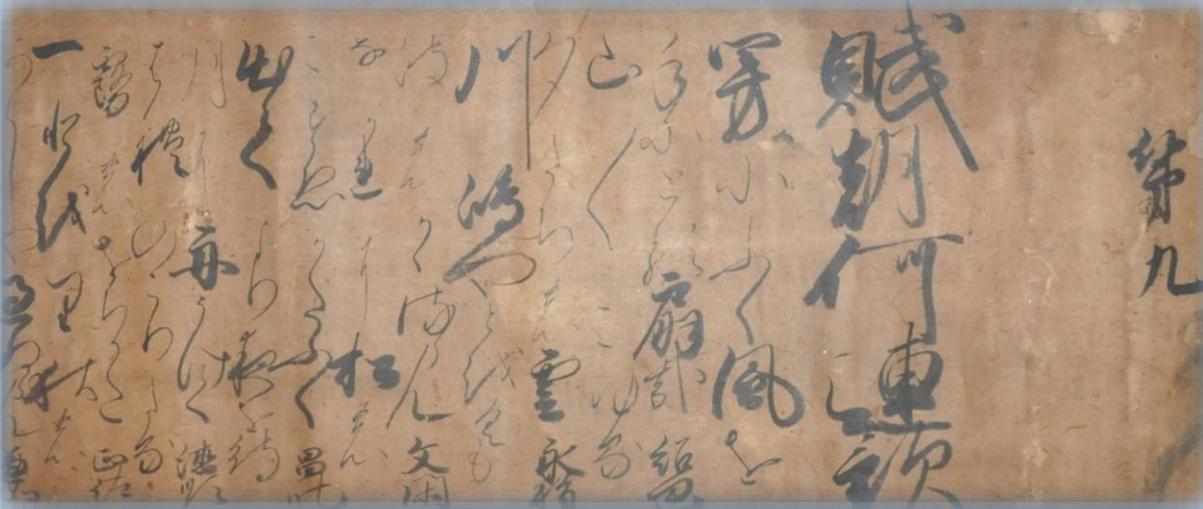
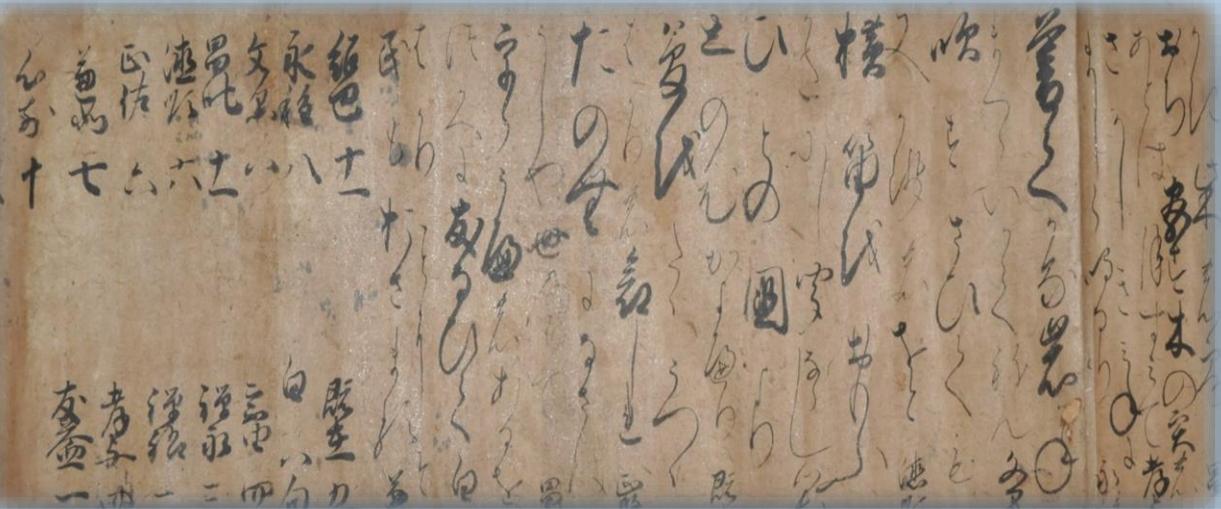
公開  
期間

令和8年

1月23日(金) → 3月1日(日)

内 容

このたび八幡の松田家で、天正6年(1578年)の羽柴秀吉による中国地方攻めを戦勝祈願した連歌(羽柴千句)の原本が発見されました。現在知られているかぎり、全国で唯一のものです。この貴重な「地域のお宝」を、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」にあわせて特別公開します。ぜひ、ご来館ください。



ふすあさなにれんが  
羽柴千句 (第九百韻) 「賦朝何連歌」 (松田家文書)

## 【担当者による展示解説会】

▶ 1/24(土)・2/7(土)・2/21(土)・2/28(土)

▶ 午後1時30分から20分程度



- 会 場 ◆ 武水別神社神官松田邸 展示室  
開 館 日 ◆ 金曜日・土曜日・日曜日  
開 館 時 間 ◆ 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)  
観 覧 料 ◆ 一般300円(250円)、高校生150円(100円)、中学生以下無料  
(カッコは団体料金で20名以上)  
※障がい者手帳などの交付を受けている方と同伴の介助の方1名は無料

## 【お問い合わせ】

武水別神社神官松田邸

(お問合せは、金・土・日の開館日にお願いいたします)

〒387-0023長野県千曲市八幡3033-25

TEL 026-247-8760 FAX 026-247-8761



速報展HPはこちら



松田邸HPはこちら